

## 水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成23年5月27日(金) 本社会議室		
委員	波光 巖(大学教授) 矢橋晨吾(大学名誉教授) 西谷隆巨(大学名誉教授) 田中俊充(弁護士) 角田 茂(学校法人参事)		
審議対象期間	平成23年1月1日~平成23年3月31日		
抽出案件	総件数	5	件 (備考)
工事	一般競争	1	件
	公募型指名競争	0	件
	通常指名競争	1	件
	随意契約	0	件
建設コンサルト	公募型プロポーザル・簡易公募型プロポーザル	0	件
	公募型指名競争入札・簡易公募型競争入札	0	件
	標準プロポーザル	0	件
	一般競争	0	件
	通常指名競争	2	件
	随意契約(競争性のある)	0	件
	随意契約(特命随意契約)	0	件
	補償契約	1	件
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答
	<b>1. 一般競争入札(工事)</b>		
	<b>【大規模地震対策宇連ダム取水塔上屋改築工事】</b>		
	・工事費が高額の割に入札者が少ない。特殊な技術が必要な工事か。	・工事現場が山奥にあり、作業場所がダムの上に立つ取水塔という特殊な場所のため非常に工事をしづらいイメージがあり、応募者が少なかったと思われます。	
	・落札者は品質管理に関する事項の点数が低い。品質管理に関して支障はないか。また、品質管理に関する指導はするのか。	・標準的な工法を0点とし、優れたものについて加点する評価方法となりますので問題ないと判断しています。落札者に対して指導していく可能性はあります。	
	<b>2. 通常指名競争入札(工事)</b>		
	<b>【筑後川下流用水ゲート庫外壁改修工事】</b>		
・検索結果一覧表に示された者のなかで、点数が低い者を下から10社選定している。点数が低いほうが、成績がよいということか。	・工事の概算金額から起点となる点数を求め、その起点の上下10社を選定しています。		

## 水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

	<p>・業者選定において、工事成績と総合点数で選定することになっているが、工事成績も利用しているのか。</p>	<p>・建築工事は近年発注が無く、過去の工事成績はどの者もありません。従って総合点数により選定しています。</p>
	<b>3．通常指名競争入札（建設コンサルタント業務等）</b>	
	<b>【下流河川水位観測地点検討業務】</b>	
	<p>・業者選定リストによると、ほとんどの業者の総合点数が 300 点である。それでは比較ができないのではないかと。総合点数は 300 点が満点か。</p>	<p>・総合点数の満点は 300 点です。総合点数では順番がつかないため、過去の成績を使って順番を付けています。</p>
	<b>4．通常指名競争入札（建設コンサルタント業務等）</b>	
	<b>【日吉ダム多重無線回線検討業務】</b>	
	<p>・不落随契に移行した後に落札した者の見積額と最初の入札額にかなりの差があるのはなぜか。請負者の積算内訳はわかるのか。</p>	<p>・最初の入札は現場踏査が必要という積算をしたが、入札の後に現地踏査が必要ない事が分かり、今回の見積額になったという事です。内訳書を提出させていないため、積算内訳はわかりません。</p>
	<b>5．補償契約</b>	
	<b>【土地売買に関する契約書（付替県道青美線第 2 工区（その 5））川上ダム建設所】</b>	
	<p>・なし</p>	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	<p>・なし</p>	

問い合わせ先

埼玉県さいたま市中央区新都心 1 1 番地 2

ランド・アクシス・タワー内

電話 048 - 600 - 6500

水資源機構入札等監視委員会事務局

財務部契約課長

小島 隆（内線 2251）

技術管理室技術調査課長

長井 剛彦（内線 4631）

用地部補償業務課長

杉浦 正人（内線 2331）